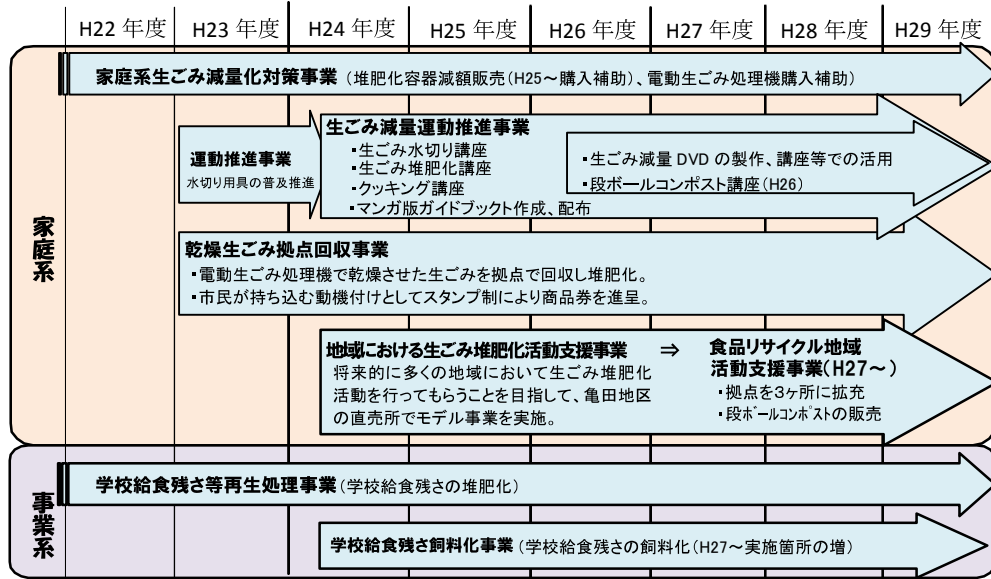


# 生ごみ減量・資源化施策の進捗状況について

## 1 生ごみ減量対策事業の実施状況



## (3) 乾燥生ごみ拠点回収事業（「にいがた未来ポイント」対象事業）

電動生ごみ処理機の普及を図るため、市内10ヶ所の拠点で乾燥生ごみを回収、市施設で堆肥化を行い、できた堆肥は希望者に無料配布している。

回収した乾燥生ごみの重量に応じてスタンプを付与、後日市共通商品券を進呈している。

年度	回収量 (kg)
26年度	3,878
27年度	3,596
28年度	3,487
29年度(5月末)	484



【パンフレットとスタンプカード】

## (4) 食品リサイクル地域活動支援事業

### ① 地域における生ごみ堆肥化活動（「にいがた未来ポイント」対象事業）

地域で生ごみの循環ループを構築することを目的に、平成24年度から江南区の直売所に生ごみ処理機を設置し、堆肥化するモデル事業を行ってきた。平成27年7月に2ヶ所（南区・西蒲区）増設し、地域での生ごみ堆肥化活動を推進している。

年度		江南区	南区	西蒲区	合計
26年度	生ごみ回収量(kg)	2,211	—	—	2,211
	会員数(人)	74	—	—	74
27年度	生ごみ回収量(kg)	2,724	330	1,833	4,887
	会員数(人)	83	16	40	139
28年度	生ごみ回収量(kg)	2,566	319	942	3,827
	会員数(人)	90	20	41	151
29年度(5月末)	生ごみ回収量(kg)	403	33	171	607
	会員数(人)	90	20	41	151



【処理機内の生ごみ】



【会員証】

## 2 事業の概要及び実績

### (1) 生ごみ処理機器の購入費補助

家庭から排出される生ごみの減量及び資源化を促進するとともに、ごみ問題に対する市民意識の高揚を図るため、家庭用生ごみ処理器の購入者に対し、補助金を交付している。

年度	コンポスト容器(基)	EMボカシ容器(基)	電動生ごみ処理機(機)	計
26年度	101	79	52	232
27年度	91	58	53	202
28年度	68	61	59	188
29年度(5月末)	17	8	3	28



EMボカシ容器 コンポスト容器 電動生ごみ処理機

### ② 段ボールコンポストの普及（「にいがた未来ポイント」対象事業）

家庭で手軽にできる生ごみ資源化手法のひとつとして、市オリジナル段ボールコンポスト「サイチョのマジックダンボール」を製作し、平成27年10月から販売開始。また、使い方講習会を開催することで、市民への普及を目指している。

年度	販売数		講座	
	セット	基材のみ	開催数	参加人数
26年度	—	—	1	20
27年度	240	—	13	200
28年度	458	66	12	172
29年度(5月末)	72	17	—	—



【コンポストセット】

### (2) 生ごみ減量運動推進事業（「にいがた未来ポイント」対象事業）

市民一人ひとりが自らのライフスタイルに合った方法で生ごみ減量に取り組めるよう、水切り講座など各種講座を開催するとともに、様々な減量方法を紹介するマンガ版ガイドブックを出前講座やイベント時に配布した。また、生ごみ減量DVDは、図書館等で貸し出しを行っている。

年度	開催講座	計
26年度	生ごみ水切り講座：58名(2回)	計 171名
	生ごみ堆肥化講座：47名(2回)	
	クッキング講座：46名(2回)	
27年度	生ごみ水切り講座：61名(2回)	計 137名
	生ごみ堆肥化講座：30名(2回)	
	クッキング講座：46名(2回)	
28年度	生ごみ水切り講座：119名(4回)	計 169名
	生ごみ堆肥化講座：20名(1回)	
	クッキング講座：30名(1回)	



【生ごみ減量DVD画面】

### (5) 学校給食残さの飼料化・堆肥化

平成27年7月に環境省が示した「食品循環資源の再生利用等の促進に関する基本方針」では、再生利用方法の優先順位を、①飼料化、②肥料化、③メタン化等のエネルギーの再生利用としている。基本方針を踏まえ、養豚業者による学校給食残さ飼料化事業を行っている。

年度	学校給食残さ飼料化		学校給食残さ堆肥化		回収量合計(t)
	回収量(t)	対象施設数	回収量(t)	対象施設数	
26年度	47.50	2	458.40	88	505.90
27年度	77.71	4	385.08	84	462.79
28年度	101.00	7	378.15	79	479.15
29年度(5月末)	16.47	7	63.38	79	79.85